

Media Convert Use-case

メディアコンバート活用事例

メディアコンバート作業が必要な場合は・・・

1. 運用

オフラインでのデータ交換等でデータメディアが異なる為、データの受渡に支障が発生する場合。

2. アーカイビング

過去のデータを記録として継承したい場合。

3. レガシーマイグレーション

システム入替等に伴い、運用中またはバックアップとして保存してあるデータメディアをハードウェア、ソフトウェアが異なる環境において運用ができる様にする場合。

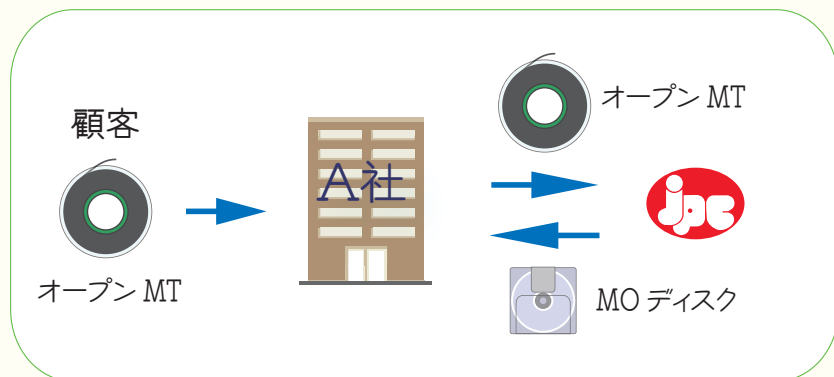
サービス事例 その1 (運用)

分野：印刷業界 A 社

作業内容：メディアコンバート (1/2 インチオープン MT→640MB MO ディスク) & 文字コード変換

経緯：A 社は顧客から汎用機で作成したデータをデータベース上に展開した後、必要なデータを印刷する作業を請負いました。

この作業は毎月発生し、顧客からは1/2 インチオープン MTで A 社に送られてきます。A 社には汎用機の設備がない為、弊社に作業を依頼しました。弊社では1/2 インチオープン MTに記録されたデータをパソコンで読み取る事ができる様に、文字コードの変換 (ANK コード：EBCDIC→ASCII, 漢字コード：JEF→シフト JIS) とデータベース上に取り込める様にデータ形式の変換 (固定長, txt形式) を行い、640MB の MO ディスクに記録して納品しています。



メリット

データ受け取りの際に使用されるメディアの対応装置がない場合でも、装置を新規導入することなく対応が可能となりました。

サービス事例 その2 (運用)

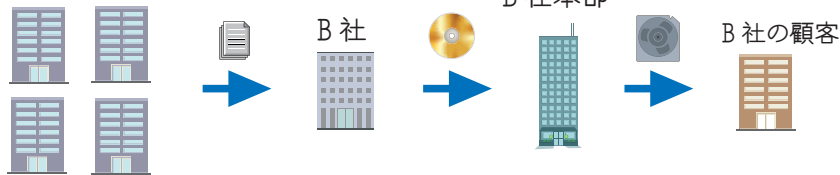
分野：棚卸代行 B 社

作業内容：Mail 添付データ→CMT（36トラック）データ編集作業 及び 文字コード変換

経緯：B 社は顧客の各拠点の棚卸データを CD-R に納め、宅配便で B 社の本部に送り集計して CMT で顧客に納めていました。B 社の顧客の拠点は遠隔地にある上、何箇所もあるのでデータリリースから成果物の納品まで約3日かかっていました。B 社は顧客への納品時間を短縮する為、顧客の各拠点のデータ収集を Mail 添付に変更し CMT へのメディアコンバート作業を弊社に依頼。弊社では CMT への変換だけでなく受け取った Mail 添付データの編集をしてから CMT に記録することにした為、データリリースから納品までの日数は1日に短縮されました。

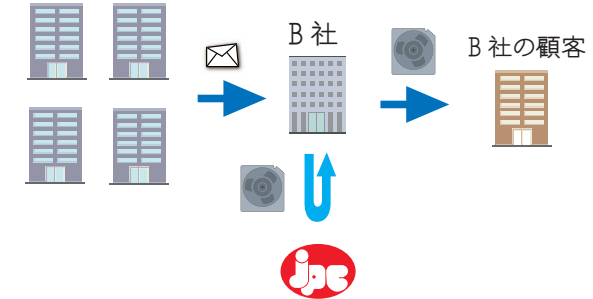
従来までの流れ - 納期3日間

B 社の顧客（各拠点）



改善された流れ - 納期1日間

B 社の顧客（各拠点）



メリット：データ編集と CMT へのコンバートを弊社に依頼したため従来かけていたリソースを軽減させ納期を大幅に短縮できました。

サービス事例 その3 (運用)

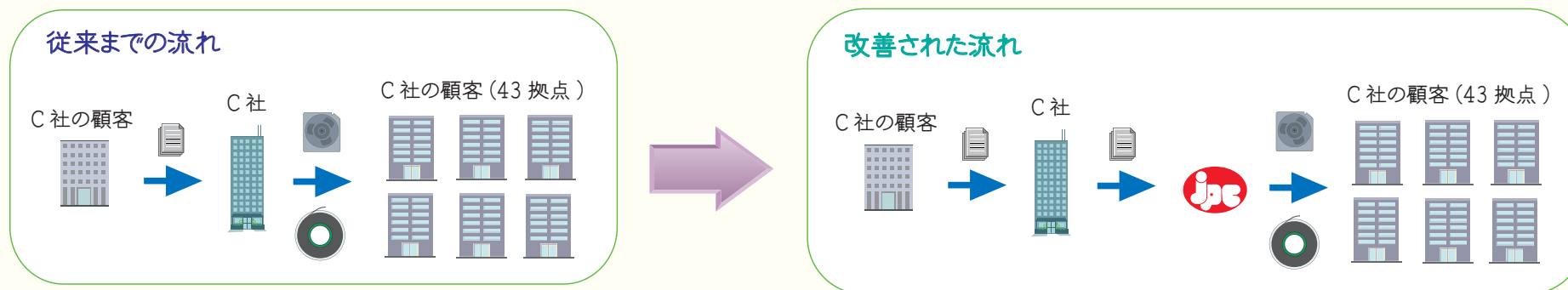
分野：アウトソーシング C 社

作業内容：640MB MO→MT, CMT(18トラック), CMT (36トラック) 文字コード変換あり。

経緯：C 社は顧客の本社でパソコンで作成されたデータを各支社の汎用機で使用する業務を受託しました。

この業務は毎月発生し、支社・支店の数も 43 箇所あります。また支社・支店によってデータと使用記録媒体が異なり、MT、CMT(18トラック), CMT (36トラック)が存在します。

C 社から依頼を受けた弊社はパソコンで作成されたデータの文字コード変換と編集、及び各支店・支社に合わせた記録媒体への変換のみならず、協力会社を通じ C 社の顧客の支社に直接配送を行っています。



メリット：多大な手間と時間を割いていたコピー及び発送作業を自社で行う必要がなくなり、その人員と時間を他の業務で有効に利用できるようになりました。

サービス事例 その4 (アーカイビング)

分野：大学・研究機関 D 校

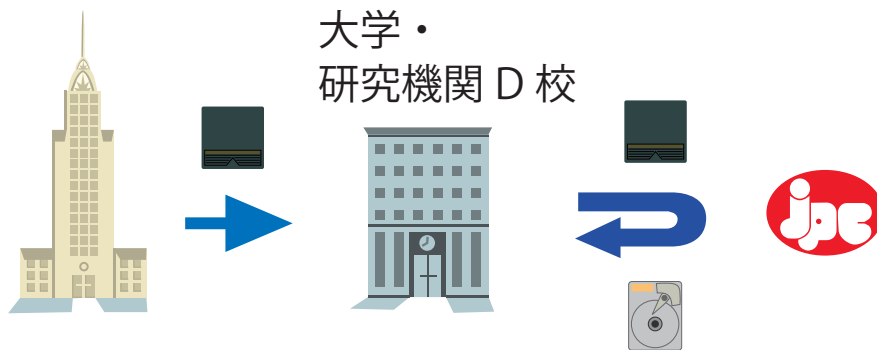
作業内容：DLT7000→HDD tar 圧縮の解凍

経緯：D 校の研究室ではアメリカから学術データを取り寄せたところデータ量が多いので DLT メディアに入って送られてきました。

D 校には DLT テープ装置がないので、弊社にメディアコンバート作業を依頼しました。

当初の依頼では DVD に変換が希望でしたがデータ量が多い上データの共有を考え、リムーバブル HDD による納品を弊社より提案しました。D 校はこの提案を受け入れ、学術データは研究室内用サーバーで活用できるようになりました。

海外の学術機関



メリット：メディアの対応装置を持って
いなくても、別途装置を新規導入する
ことなくメディアを読み書きできた為、
学術データの活用ができました。

サービス事例 その5 (アーカイビング)

分野：研究機関 E

作業内容：MT→CD-R 文字コード変換あり。レコード形式を変更

経緯：研究機関 E では倉庫の整理中に過去の測定データを記録した MT が大量に発見されました。

記録は貴重なものですが記録した MT 装置はすでにはありません。依頼を受けた弊社では MT をクリーニング行った後、各 MT 毎に CD-R を作成する際に文字コードの変換 (ANK コード：EBCDIC→ASCII) 及びレコード形式の変更 (固定長形式→CSV 形式) を行い納品しました。



メリット：メディアの対応装置を撤去してデータを読み取る環境が無い場合でも貴重な過去のデータを継承することができました。

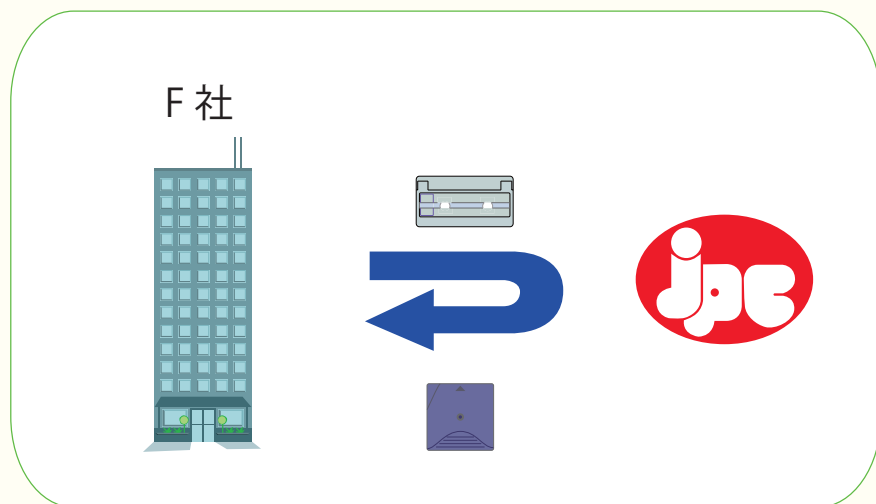
サービス事例 その6 (レガシーマイグレーション)

分野：食品関連F社

作業内容：Manmoth-1→LTO-1 テープフォーマットの変更（単純コピーのみ）

経緯：F社はシステムの入替に伴い、テープ装置を Manmoth-1 から LTO に切り替えることにしました。

これに伴い、旧システムで使用していた Manmoth-1 で記録したデータは読み出す事ができなくなるので LTO にメディアコンバートする事にしました。システム入替えのスケジュールに合わせた作業を行った為、新システム稼働直後も旧システムで作成したデータを使用することができました。



メリット：システム入替によりデータ記録メディアが変更となっても、旧メディアの対応装置を維持することなく従来のデータを継承可能となりました。

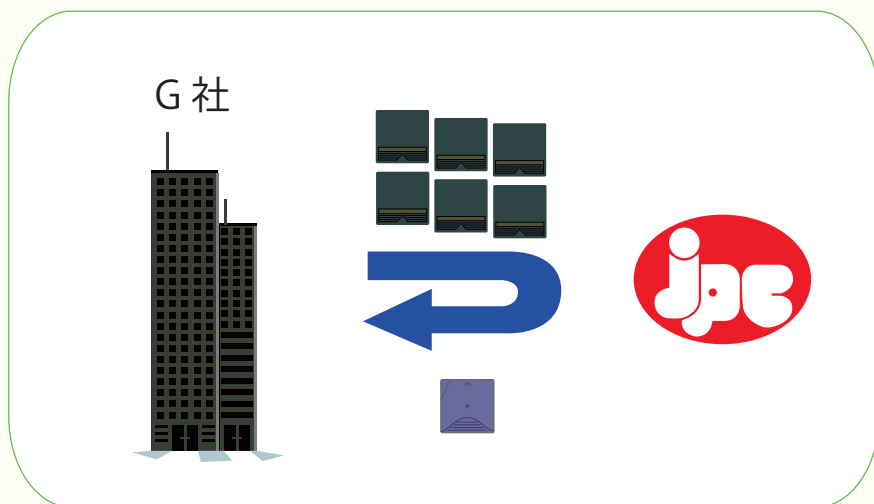
サービス事例 その7 (レガシーマイグレーション)

分野：システムインテグレーター G 社

作業内容：DLT4000→LTO-1 バックアップソフトウェアのリストア・再バックアップ

経緯：G 社の顧客は古いバージョンのバックアップソフトウェアによって記録された DLTIVテープを多数持っていました。

システムの更新に伴いバックアップソフトウェアの更新も行う事になりましたが、ソフトウェアが異なるので一度リストアして再バックアップする事となりました。DLTIVテープは 108 巻あり E 社ではシステム更新にリストアが間に合わないので弊社に作業を依頼しました。弊社ではおよそ 20 日で終わる事ができました。



メリット：非常に煩雑かつ手間と時間のかかる作業をメディアコンバートサービスを利用することによってシステム更新を当初の予定通り終えることができました。

<http://www.mediaconvert.jp/>




日本パーソナルコンピュータ株式会社

本社 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-18-13 藤和不動産新横浜ビル
IP-PHONE:050-3000-9908 TEL 045-470-8128 FAX 045-470-8129

関西営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原2-14-14 新大阪グランドビル
IP-PHONE 050-3000-7691 TEL 06-6396-1202 FAX 06-6396-1106

テクニカルセンター 〒192-0046 東京都八王子市明神町1-14-8 MK3ビル
IP-PHONE 050-3000-5267 TEL 042-646-7667 FAX 042-645-7170

 日本パーソナルコンピュータ株式会社
メディアコンバート事業部